

練二通信

No. 404

令和3年1月7日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

一人では続けていけなくても

校長 濱中 一

一年の計は元日にあり。私は、練二小の元日である今日、一月七日に、『自らの目標をもち、頑張っていく決意をする』ことを、子供たちに投げかけました。

私はこれまで、子供たちに「目標をもって学校生活を送ろう」と繰り返して投げかけてきました。子供たちが学ぶ上で大切なのは、自らを見つめ、一歩先の「こうなりたい自分」をイメージし、自らすすんで取り組むこと。そして、高まった自分を実感し、また新たな目標をもち、新たな学びにつなげること。なぜなら、これらのサイクルは、小学校での学習や生活の中だけでなく、子供たちが将来にわたって自らを成長させる力につながるからです。

しかし、人間の意志はそう続きませぬ。自ら高まるための取組は、楽しいこと、楽しいことばかりではないからです。思い起こせば一年前に「笑顔で明るくあいさつし続けること」を一年の目標として子供たちに宣言した私も、臨時休業で心の距離が離れかけ、マス

クの会話でコミュニケーションが難しくなる中、時にはなかなか明るくならない子供たちにあいさつを続けることもありました。それでも、笑顔であいさつをしてくれる子供たちに私の方励まされてきたからこそ、目標を達成できたのだと思っています。

子供たちは経験が少なく、どこまで頑張れば自分が高められるのか見通しがない、大人ほどは意欲を持続できません。もちろん、子供自身が自主的にできるに越したことはありませんが、教師や保護者が、時には厳しく、時には励ましながら根気強く取り組ませ、乗り越えさせてあげる必要があります。

2学期に取り組んだキャリアパスポートでは、保護者の皆様に、お子様へのエールをいただきました。一年間の中間地点に保護者と教師から励ましやアドバイスをもらうことで、子供たちは再度意欲をもって目標に向かい、将来に向かって自分らしい生き方を見付ける力につながっていきます。

からこそ、もう一度原点に戻り、子供たち一人一人との対話を大切に、子供たちの思いに寄り添える学校であり続けたいと思います。是非これからもご家庭で、お子様の心に寄り添い、しっかりと見守り、声をかけてあげてください。子供たちの成長を、家庭と地域、学校で共に見守っていきましょう。

今年も、練二小の子供たちに、自ら学び高まる楽しさを味わわせ、笑顔で充実した学校生活を送らせたいと考えています。令和三年も本校の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。

去る十二月七日に、元ラグビー日本代表キャプテン廣瀬俊朗氏によるラグビー特別授業、スポーツドクター辻秀一氏によるスポーツメンタル授業、十二月十八日に、なわ跳び世界大会チャンピオン生山ヒジキ氏によるなわ跳び特別授業を行いました。全校児童がパフォーマンスを鑑賞し、ラグビー授業とスポーツメンタル授業では六年生、なわ跳び授業では六・四・二年生が直接指導を受けました。本物のアスリートから学ぶ、コロナ禍での貴重な体験となりました。

十二月の朝会より

〇二〇一九年ラグビーワールドカップ日本代表の大躍進は、四年間にわたる猛練習によるものだった。さらに四年前には、南アフリカ戦での歴史的勝利があった。今日、この両方の立役者である元日本代表キャプテン廣瀬俊朗先生が特別授業に来校します。

〇練二小は、いじめを絶対に許さない。練二小の子供は、禁止言葉は使わない。いやなことがあったら、はっきり相手に伝える。うまく伝えられないときは、友達、先生、おうちの人に相談する。練二小の先生は、みんな信頼できる先生です。

〇今年の目標、二学期の目標は達成したかどうか。最後の一週間、もう一度初心を思い出して努力することが大切。

一月の行事予定

- 7 (木) 始業式 給食始 午前授業(一〜四年)委員会活動(五校時)
- 9 (土) 土曜授業(公開なし)お話の会(一、二年)クラブ活動
- 18 (月) お話の会(三、四年)避難訓練
- 21 (木) お話の会(五、六年)
- 20 (水) お話の会(三、四年)
- 22 (金) あいさつ川柳大会
- 23 (土) 土曜授業(公開なし)
- 25 (月) クラブ活動

書き初め展(2月5日まで)

保護者鑑賞日を四日間

【25(月) 26(火) 28(木) 29(金)】

児童下校後の午後三時〜五時まで

★今月の生活目標

・元氣よくあいさつをしよう。

★週の生活目標

- ・すすんであいさつする。
- ・言葉づかいに気をつける。

「貫井囃子」体験学習を終えて

三年一組担任
二組総合担当

毎年三年生の総合的な学習の時間に
取り組んでいる「貫井囃子」ですが、
本年度は残念ながらもちつき大会での
発表が中止になりました。そんな中で
も、地域の文化や伝統を伝えたいと、
貫井囃子保存会の皆様がゲストテイ
チャーとなり、三年生全員に貫井囃子
の体験をさせてくださいました。

貫井囃子の地言を口ずさみ暗唱する、
バチで雑巾をたたき、小太鼓をたたき、
小太鼓のリズムに感わされないように
大太鼓をたたき、練習では毎回少
しずつ難易度が上がっていました。
子供たちは毎日地言を暗唱し、声を掛
け合いながら一生懸命練習に取り組み
ました。そして最終回には、車座にな
って順番に全ての太鼓をたたき、その
役割を果たすという、達成感に満ちた
体験をすることが出来ました。

貫井囃子保存会の皆様には、「上手に
なったよ」などと励ましながら丁寧
に教えていただきました。子供たちは地
域の文化や伝統を知るとともに、地
域の一員であるということが実感出
来たと思います。貴重な体験をさせ
ていただき、本当にありがとうございます。

もちつき大会を終えて

6年担任

子供たちが楽しみにしていた第四十
二回のもちつき大会が行われました。
薪の釜で餅米を蒸し、臼や杵を使つて
の餅つきを体験するという貴重な体験
をしました。今年は、コロナウイルス
感染症対策のため、例年行っているつ
きたての餅を食べたり、三年生の貫井
囃子の演奏を披露したりする場をもつ
ことができませんでした。六年生の子
供たちは地域の文化や伝統を知ると
もに、地域社会の一員であるというこ
とを実感することができ、四十一回
の歴史と多くの方に支えられている感謝
の気持ちをかみしめながら、餅つき体
験をさせていただきました。

もちつき大会に向けて、青少年委員
の関口様には地域との連絡・調整を、
地域の方々には道具の点検・準備、保護
者の皆様には準備や下ごしらえ、使う
道具の消毒などを早くからお手伝い
いただきました。そして当日も朝早くか
ら、たくさんの方々にお力添えをいた
だきました。

本当にありがとうございます。

道徳授業地区公開講座

道徳担当

先日、工事中の狭い通路を通る際、
正面から自転車に乗った人が来たので
道を譲りました。すると、「ありがとう
ございます」と通り過ぎていかれま
した。とてもさわやかな気持ちにな
りました。

一年生の道徳で、「わすれているこ
と、なあい」という挨拶の大切さを学
ぶ単元があります。子供たちは、お礼
を言うことも挨拶することも大切であ
るとはわかっていきます。学習を通し
て日頃の経験と照らし合わせて考えるこ
とで、さらに道徳的価値を高め、意欲
をもって生活するようになります。道
徳は、日常あつてこそその経験、経験あ
つてこそその学び、学びあつてこそ実践
しようという意欲をもちます。

学校で行われている道徳の活動だけ
では、子供は育ちません。是非、日常
を大切にして、家庭、地域、学校が連
携して子供たちの経験を高める場とな
ることを願います。

道徳授業地区公開講座では、学校で
の特別の教科道徳の様子を毎年一回公
開します。今年度は一月九日に実施予
定でしたが、延期し、二月以降に実施
する方向で準備を進めています。是非
この機会に、学習の様子だけではなく、
地域との関わりや家族、友達などの結
びつきを再確認し、会話を深めていた
だきたいと思えます。

校内書初め展

書写担当

「とめ」「はね」「はらい」などに気を付けて、
文字を丁寧に正しく書くこと、伝統的な行事に
ついて知ることをねらいとして、一、二年生は
硬筆、三年生以上は毛筆での書き初めに取り組
みます。

一月七日（木）から十二日（火）までの間に
校内で書き初めを行います。三年生以上の児童
は、体育館での新年席書会を行います。二期
末から一所懸命練習した文字に新年の新たな気
持ちを込めて、一字一字丁寧に書きます。

児童の作品は、一月二十五日（月）から二月五
日（金）の間に廊下に展示し、各クラスで全校
の作品を鑑賞します。今年度は、新型コロナウイルス
イルス感染予防のため、保護者鑑賞日を四日間
【25（月）26（火）28（木）29（金）】設けま
した。なお、児童との接触を避けるため、児童
下校後の午後三時から午後五時までといたしま
す。来校の際は、中央昇降口で受付を済ませ、
マスク着用でご鑑賞ください。ご理解ご協力の
ほどよろしく願います。また、今後の
新型コロナウイルス感染症の拡大状況により予
定が変更になる可能性もございますことをご承
知おきください。

例年練馬区立美術館で行われていた練馬区小
中学校連合書き初め展の合同開催は、運営上の
都合により中止となりましたが、各校で代表作
品の選考を行い、校内での展示を行います。詳
しくは、後日配布するお便りをご覧ください。